

# 可搬式荷物用昇降台

## HLA-ADC 型

---

### 取扱説明書



ピカ コーポレイション

## もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
表示マークについて・・・・・・・・	2
ご使用前の準備（製品が届いたら）・・・・・・・・	3
各部名称・ラベル貼付位置・・・・・・・・	4
安全のために、必ず守っていただきたいこと・・・・・・・・	6
製品仕様・・・・・・・・	9
バッテリー（蓄電池）について・・・・・・・・	10
バッテリー充電器について・・・・・・・・	11
ご使用前の点検（始業前点検）、（作業場の確認）・・・	13
リフトの使いかた・・・・・・・・	15
1.製品の設置と準備	
2.荷物の設置手順	
3.リフトの昇降前に	
4.リフトの昇降	
5.非常時の手動運転	
6.ブレーカーの操作	
7.作業終了	
8.セーフティブレーキに関して	
運搬と保管のしかた・・・・・・・・	23
1.移動のしかた	
2.クレーンで製品を積込むには	
3.車輜へ積込むには	
4.保管のしかた	
「故障かな？」と思ったら（不調診断）・・・・・・・・	26
始業前点検表・・・・・・・・	28
電気回路図・・・・・・・・	29
保守点検のご案内・・・・・・・・	30

## はじめに

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。  
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。  
ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。  
取扱説明書の内容と合わせて、作業現場内での規則を守り安全に作業してください。



- 可搬式荷物用昇降台（以下、「リフト」という）は、正しく使われないと転倒や荷物落下の危険があります。  
お使いになるときは、製品の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

### 運転に必要な資格

本製品の運転は下記を修了された方に限ります。

- 巻上げ機運転の特別教育

## 表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

### △危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

### △警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

### △注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。  
※破損したままで使用しますと、転倒や荷物の落下による傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

<絵表示について>

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



### 感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。



### 可動部や開閉部で 手をはさまないように注意

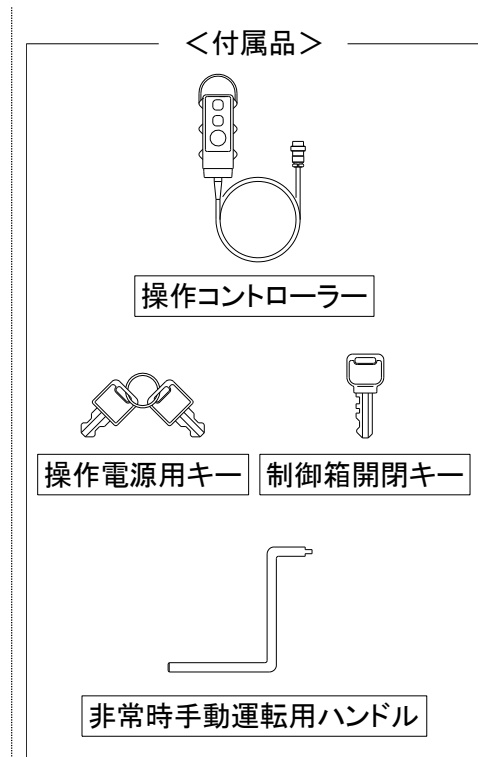
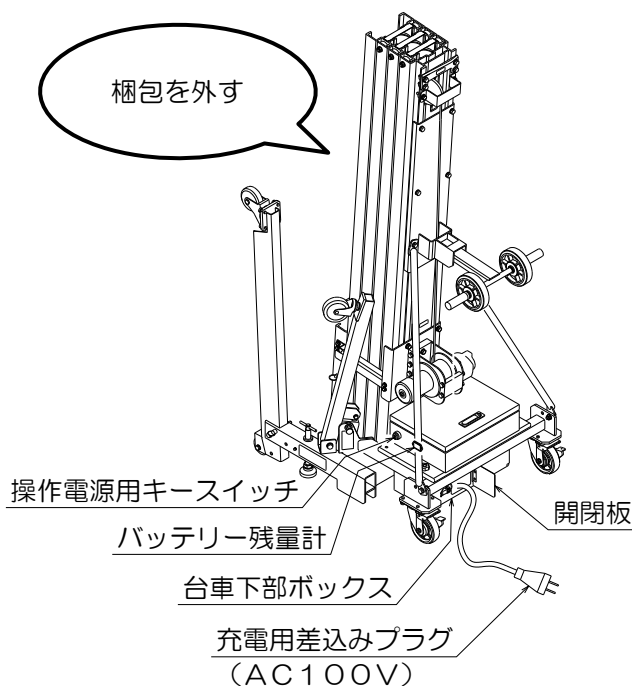
可動部や開閉部などで手をはさむ恐れがあることを注意しています。

## ご使用前の準備（製品が届いたら）

1. 梱包を外してください。
2. 付属品（操作電源用キー、制御箱開閉キー、非常時手動運転用ハンドル）が付属されていることを確認してください。
3. 台車下部ボックスの開閉板を開け、充電用差込みプラグ（AC100V）を取出して、バッテリーを充電してください。  
プラグをコンセントにさせば充電を開始します。  
※差込みプラグ及びコードは無理に引張らないでください。  
※バッテリー充電中は製品の昇降操作はしないでください。
4. 付属の操作電源用キーを制御箱の操作電源用キースイッチに差込み、右に回して電源ONにしてください。  
電源ONにするとバッテリー残量計が点灯し、バッテリーの充電状態が確認出来ます。  
満充電になりましたら充電用差込みプラグを抜いてください。  
※電源OFFでは残量計は点灯しません。  
電源ONでバッテリー残量を確認してください。
5. 充電後、コードは束ねて下部ボックスに収納してください。

### △注意

- ・充電器破損の原因となるため、バッテリー充電中の昇降操作はしないでください。
- ・バッテリーは水素ガスを発生する場合があります。バッテリーに火気を近づけたり、火花を発生する部品や機器の近くで製品を使用しないでください。



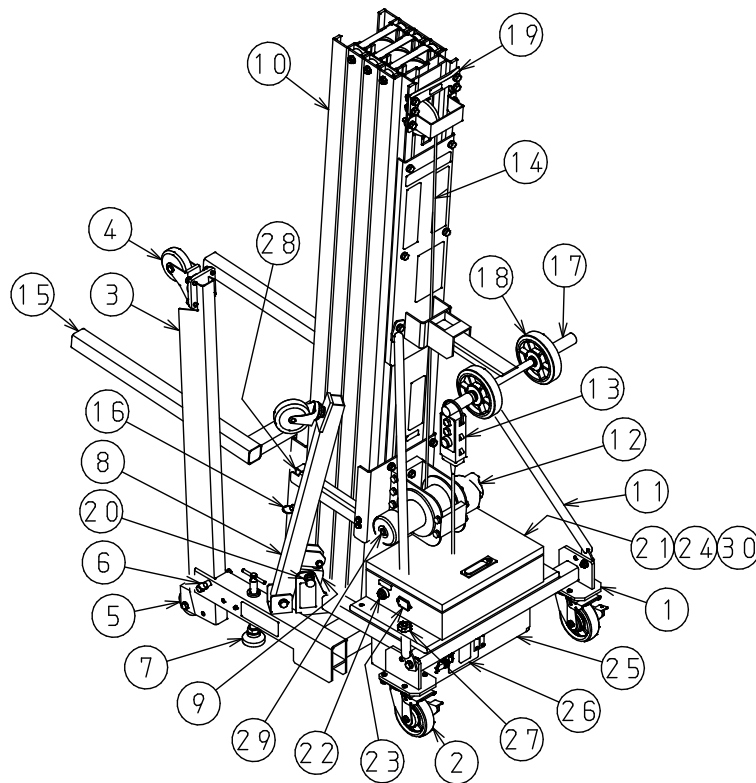
## 各部名称・ラベル貼付位置

番号	名称	備考	番号	名称	備考
1	台車		16	フォーク固定ピン	
2	ブレーキ付自在固定切替え車輪		17	ハンドル	
3	台車アーム		18	積載用車輪	
4	自在車輪		19	吊り具	
5	固定車輪		20	収納ピン	
6	ロックピン		21	制御箱	
7	アジャスター		22	操作電源用キースイッチ	
8	スタビライザー		23	バッテリー残量計	
9	ロックプレート		24	ブレーカー	
10	支柱		25	下部ボックス	
11	補強プレス		26	充電用差込みプラグ(約2m)	
12	電動ウインチ		27	ノブ付ボルト	
13	操作コントローラー(脱着式)		28	下降端感知リミットスイッチ	
14	ワイヤーロープ		29	非常時手動運転用ハンドル挿入部	
15	フォーク		30	操作コントローラー接続部	

※8・9・20はスタビライザー装備機種(HLA-59ADC型,HLA-74ADC型)のみ。

※24は21制御箱の中にあります。P19を参照し操作してください。

※26は25下部ボックスの中にあります。開閉板を開け操作してください。



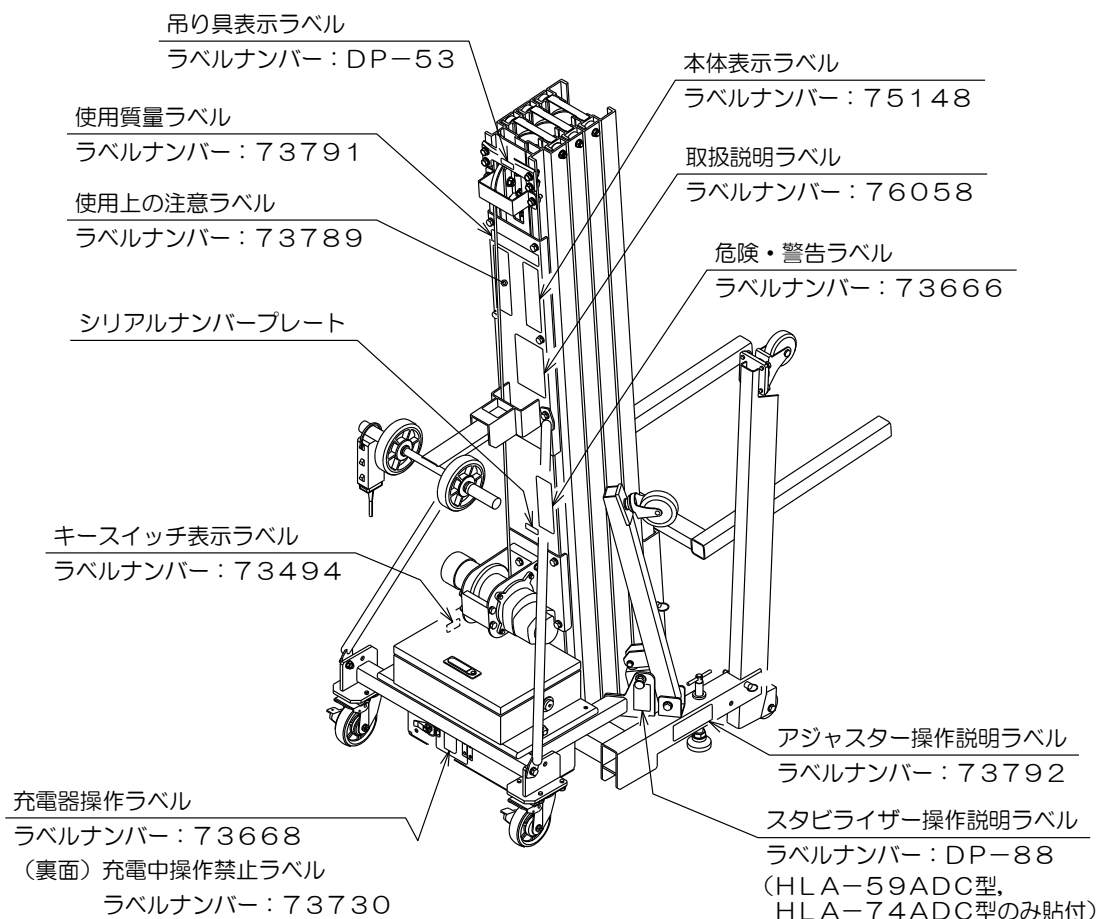
(イラストはHLA-59ADC型を示す)

## 各部名称・ラベル貼付位置

### ＜ラベルの手入れ＞

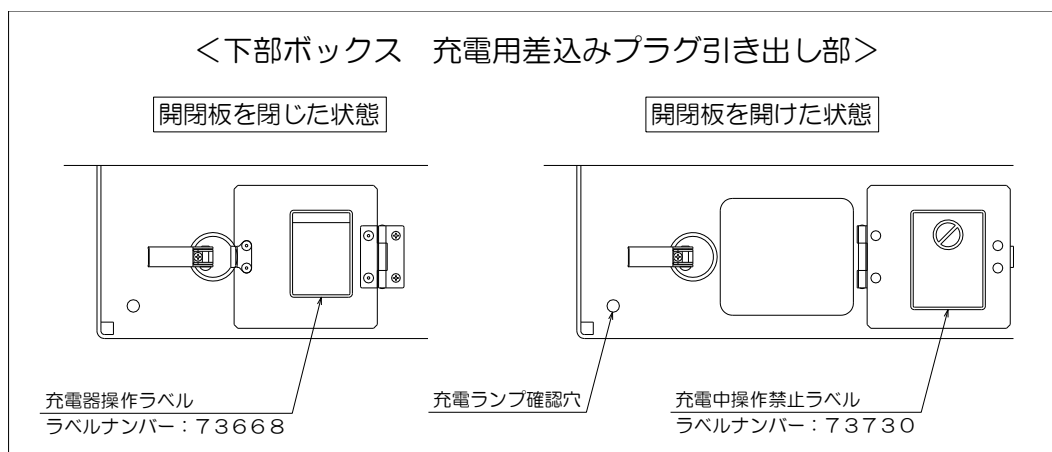
ラベルは表示内容が確認できるよう、傷つけないでください。

ラベルが汚れている場合は、水などで汚れを落とした後やわらかい布で拭いてください。



(イラストはHLA-59ADC型を示す)

1. ラベルを取寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2. ラベルナンバーはラベルに記載されています。



# 安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

## 1. 使用条件について

### ⚠警告



強制

この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

積載する荷物の質量が、最大使用質量を超えるとときは使用しないでください。

また、安定性を損なう危険があるため、フォーク中心に荷物を載せてください。

### ⚠警告



禁止

リフトとしての用途以外の使いかたをしないでください。

この製品は、荷物を昇降させるために作られたリフトです。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと転倒や荷物の落下による重大な事故の恐れがあります。

### ⚠警告



禁止

リフトを加工や改造しないでください。

本製品を分解・改造しないでください。

分解や改造は本来の機能をそこね、事故や故障の原因となります。

分解や改造が必要な場合は弊社にご相談ください。弊社にご相談なく分解、改造されたことに起因する事故や故障については責任を負いかねます。

### ⚠警告



禁止

取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

この製品の取扱説明書やラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれています。注意事項をよく読み、理解してお使いください。

### ⚠注意



強制

安全のため、お使いになるときは保護帽（ヘルメット）を着用してください。

### ⚠注意



禁止

貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバー（5 ページを参照）をご連絡ください。

### ⚠警告



禁止

人・動物を乗せないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠注意



強制

リフト昇降時は、不意の移動を防止する為、車輪のブレーキをかけてください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠警告



強制

可動部や開閉部などで手や身体をはさまないように注意してください。

使用時に可動部に手や身体・衣服が触れないようにしてください。可動部で手をはさまれる恐れがあります。



### ⚠警告



強制

フォーク上で荷物がずれないように、昇降前に荷物を固定してください。

転倒や荷物の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠危険



強制

荷物は「支柱に近い位置」、「荷物の重心が支柱の中心線上」となるように載せてください。

転倒や荷物の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。

## 安全のために、必ず守っていただきたいこと

### ⚠危険



禁止

持ち上げた荷物の下に入らないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠警告



禁止

リフトを上昇させたままで移動させないでください。

転倒や荷物の落下の恐れがあります。

### ⚠注意



強制

移動するときは、アジャスターを上げてください。

製品が破損する恐れがあります。

### ⚠警告



禁止

複数のリフトを併置し、1つの荷物を昇降させないでください。

※複数のリフトを併置し、1つの荷物を昇降させる場合は、集中コントローラーを使用してください。

転倒や荷物の落下の恐れがあります。

### ⚠警告



強制

使用時は、周囲及び頭上の安全を確保してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠警告



強制

使用時は、作業員以外は製品に近づかないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠危険



禁止

運転中、ウィンチドラム、ワイヤーロープには絶対に手を触れないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠危険



強制

ウィンチドラムやワイヤーロープに、操作コントローラーなどの配線が巻き込まれないようにしてください。

重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠警告



禁止

ウィンチ定格を超える使用はしないでください。(P.9 参照)

モーター焼損や制御器損傷の原因になります。

## 2. ご使用になる前に

### ⚠警告



強制

使う前には、必ず「ご使用前の点検（始業前点検）」を行い、異常の無いことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。ご使用前の点検（始業前点検）は、12 ページを参照ください。

### ⚠警告



禁止

変形したリフトを使わないでください。

この製品の支柱はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使用すると、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故につながる恐れがあります。

### ⚠警告



禁止

支柱横・支柱内部のリミットスイッチには触れないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

## 3. 設置する場所について

### ⚠危険



強制

設置するときや移動するときには、配電線・送電線に注意してください。

この製品は電気を通しますので、配電線・送電線に触れると感電し、重大な事故につながる恐れがあります。

配電線・送電線からの推奨離隔距離は、8 ページを参照ください。



### ⚠危険



禁止

やわらかい地面、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所には設置しないでください。

不安定な場所で使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。



**⚠危険**



強制

必ず水平な地面上に設置してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

**⚠警告**



禁止

悪天候時（雨、雪、強風時等）は、使用しないでください。

風にあおられたり、足元が滑ったりし、重大な事故につながる恐れがあります。また、本製品は電気部品を使用していますので、雨に濡れたまま使用すると漏電や感電の恐れ、及びワイヤーの腐食等の製品の破損が発生する恐れがあります。

**⚠警告**



禁止

足元や周囲・頭上がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

暗い場所では照明を設けるなど、周囲を十分に明るくし作業に必要な照度を確保してください。また、作業区域内には作業者以外が近づかないようにしてください。

**⚠警告**



禁止

-10℃以下の低温、40℃以上の高温、90%以上の高湿の場所では使用しないでください。

各部の腐食が激しくなり、事故や故障の原因になります

**⚠警告**



禁止

酸や塩分の多い場所では使用しないでください。

各部の腐食が激しくなり、事故や故障の原因になります

**⚠警告**



禁止

有機溶剤や爆発性粉じんなどのある場所で使用しないでください。

引火爆発などの原因になります。

**⚠警告**



禁止

粉じんの多い場所で使用しないでください。

動作不良の原因になります。

**配電線・送電線からの推奨離隔距離**

電路	送電電圧 (V)	労働基準局長通達 (※) 最小離隔距離 (m)
配電線	100~200	1.0 以上
	6600	1.2 以上
送電線	20000~30000	2.0 以上
	77000	2.4 以上
	154000	4.0 以上
	275000	6.4 以上
	500000	10.8 以上

※労働基準局長通達 昭和 50 年 12 月 17 日 基発第 759 号

## 製品仕様

型式	HLA-30ADC型 HLA-B30ADC型		HLA-45ADC型 HLA-B45ADC型		HLA-59ADC型 HLA-B59ADC型		HLA-74ADC型 HLA-B74ADC型		
最大使用質量	245kg								
フォーク高さ（最大）	3015mm		4465mm		5920mm		7370mm		
フォーク高さ（最小）	125mm		130mm		135mm		140mm		
フォークの大きさ	570mm×687mm								
使用時の 展開寸法	790mm×1960mm				1800mm×1960mm				
スタビライザーの有無	無し				有り				
収納寸法	高さ	1990mm		1990mm		1990mm		1995mm	
	幅	790mm		790mm		790mm		790mm	
	奥行	1090mm		1090mm		1090mm		1090mm	
昇降方法	操作コントローラーによるボタン操作								
電動ウインチ	DC12Vバッテリー駆動								
ロープ速度	約3m/min								
ウインチ定格	15分 ※繰り返し運転を行った時の許容運転時間								
ワイヤーロープ	φ6mm ステンレス製								
キャスター	ブレーキ付自在固定切替え車輪（2輪）				φ130mmウレタン車輪 自在車輪（2輪） φ100mmウレタン車輪				
製品質量	190kg		210kg		250kg		270kg		
充電器	AC100V 差込みプラグ								
充電時間	最大 約5時間								
昇降可能回数 （満充電時）	約45回								
標準装備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非常停止ボタン</li> <li>• 上昇端/下降端 動作停止機能</li> <li>• 過電流防止ブレーカー（制御箱内）</li> <li>• 非常時手動運転</li> <li>• バッテリー残量計</li> </ul>								
セーフティブレーキ の有無	HLA-30ADC型	無	HLA-45ADC型	無	HLA-59ADC型	無	HLA-74ADC型	無	
	HLA-B30ADC型	有	HLA-B45ADC型	有	HLA-B59ADC型	有	HLA-B74ADC型	有	

※仕様は予告なく変更する場合があります

## バッテリー（蓄電池）について

本製品は、下部ボックス内にバッテリー（蓄電池）を搭載しています。  
下記の注意事項を守って、製品をご使用ください。

### ⚠危険

- バッテリーは水素ガスを発生する場合があります。バッテリーに火気を近づけたり、火花を発生する部品や機器の近くで製品を使用しないでください。
- バッテリーの+端子と-端子を金属類で短絡させると、やけどの恐れ、バッテリー破損や引火爆発の原因となります。

### ⚠警告

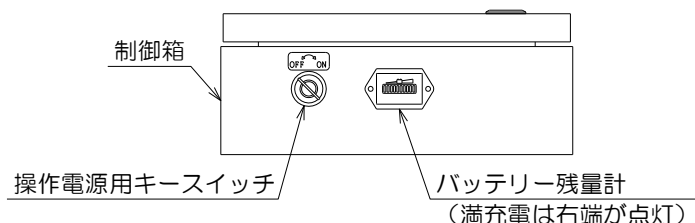
- バッテリーの充電は、本製品に搭載されている充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、発熱・爆発の原因となります。
- 下部ボックスが浸水する恐れのある場所で使用しないでください。バッテリーの端子が腐食したり、感電や火災の原因となります。
- バッテリーを分解、改造、破壊しないでください。発熱・爆発の原因となります。

### ⚠注意

- 50℃を超える場所で製品を保管しないでください。バッテリーの性能や寿命が低下したり、破損や変形の恐れがあります。
- バッテリーは作業終了ごとに充電してください。  
製品を長期間使用しないときでも、定期的に充電（最低1ヶ月に1回充電）してください。  
バッテリーを放電しすぎると性能や寿命が低下したり端子がさびたりする原因になります。
- 製品及び下部ボックスに強い衝撃や激しい振動を加えないでください。バッテリーが破損する恐れがあります。
- バッテリーは満充電状態で保管してください。放電状態での保管は寿命が短くなる原因となります。

### <バッテリー残量計>

制御箱側面にバッテリー残量計を設置しています。  
操作電源用キースイッチを右に回し、電源 ON にすると残量計が点灯しますので、残量確認用としてお使いください。  
※残量計はバッテリー残量を示す目安です。

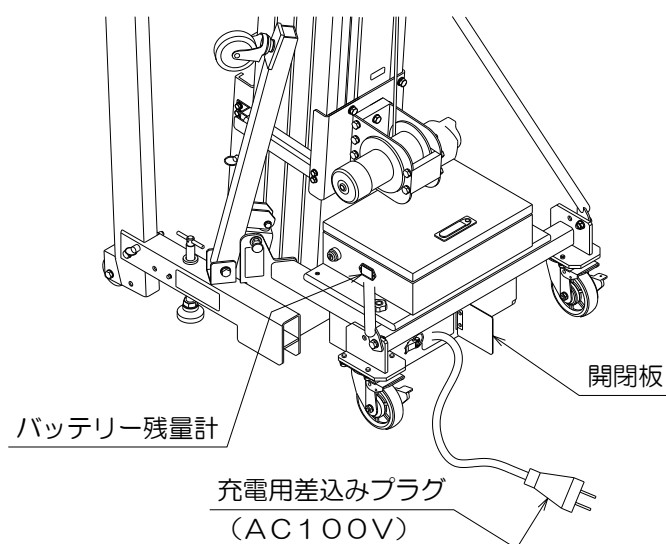


## バッテリー充電器について

本製品は、下部ボックス内にバッテリー充電器を搭載しています。  
下記の使用方法及び注意事項を守って、製品をご使用ください。

### 【使用方法】

- ①下部ボックスの開閉板を開け、充電用差込みプラグを取出してください。
  - ②AC100V コンセントに接続すると充電を開始します。
  - ③差込みプラグ及びコードは無理に引張らず、充電後コードは束ねて収納してください。
- ※バッテリーの充電状態は、バッテリー残量計で確認し、満充電になりましたら充電用差込みプラグを抜いて収納してください。



### 【注意事項】

#### ⚠危険

バッテリー充電中は、バッテリーから水素ガスが発生する場合があります。火気を近づけたり、火花を発生する部品や機器の近くで充電しないでください。

#### ⚠注意

- バッテリー充電用コードは本製品専用品です。他の用途には使用しないでください。
- バッテリー充電中は製品を収納状態にし、リフトの昇降操作はしないでください。  
充電器破損の原因となります。
- バッテリー充電は、風通しの良い場所で行ってください。埃や極端に湿気の多い場所で充電すると機器破損の原因となります。

## 【充電中のランプ】

下部ボックスに充電ランプ確認穴を設けています。

●緑色 点灯：充電完了を示します。

点滅：充電中を示します。

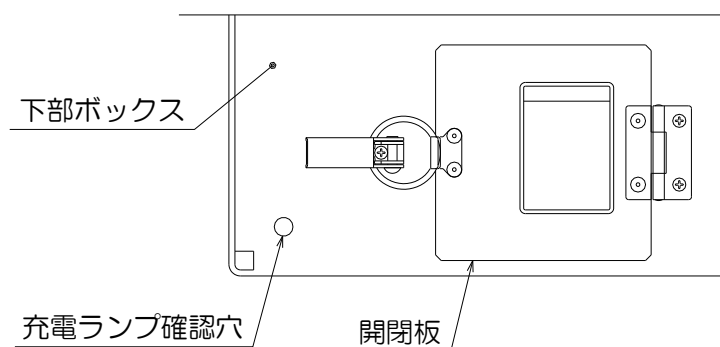
（早い点滅：正常に充電中、遅い点滅：充電完了に近い状態）

※緑色点灯後、コンセントから充電用差込みプラグを抜き、上昇操作を行っても動作しない場合は、バッテリーが劣化・放電している可能性があります。

バッテリーが劣化・放電している場合は、充電器が満充電と誤認識するため発生する現象です。

この場合は、バッテリーの交換が必要です。

●赤色 点滅：充電器のエラーを示します。



## ご使用前の点検（始業前点検）

---

使用前には、必ず各部の点検を行ってください。

異常があった場合には絶対に使用せずに、弊社にご相談ください。

### 1. 外観点検

- 台車、台車アーム、ロックピン、スタビライザー（HLA-59ADC 型,HLA-74ADC 型のみ）、支柱、フォーク等の各部に曲がり・ねじれ・へこみ等の変形や亀裂の有無を確認してください。
- ブレーキ付自在固定切替え車輪のブレーキが確実にロックできるか確認してください。
- 各部のボルトが緩んでいないことを確認してください。
- 各ラベルが読み取れることを確認してください。  
※本製品の可動部分は、操作時に傷等が発生することがありますが、品質に問題は  
ありません。

### 2. ワイヤロープの点検

- 素線の切断がないか目視で確認してください。
- キンクしていないか目視で確認してください。
- その他、著しい変形、形崩れ、腐食がないか確認してください。  
※上記項目の中で問題がある場合、ワイヤロープの交換が必要です。  
購入店、もしくは弊社にご相談ください。

### 3. 電気系統の点検

- ケーブル類にいちじるしいたるみ・傷・亀裂・腐食がないか確認してください。
- 操作電源用キースイッチを右に回し、電源 ON にするとバッテリー残量計が点灯すること、バッテリー残量（目安）を確認してください。  
また、操作電源用キースイッチを左に回し、電源 OFF にするとバッテリー残量計が消灯することを確認してください。

### 4. ウインチの点検

- 操作コントローラーのボタン操作と荷物の動作が一致している事を確認してください。  
逆の動作(逆巻き状態)となっている場合、ブレーキが働きません。
- ウインチ停止時、自動でブレーキが効いているか確認してください。  
ブレーキが確実に動作しない時は運転しないでください。
- 電動ウインチ本体（ギアケース、ウインチドラム、モーター）に損傷や変形摩耗がないか目視で確認してください。
- ウインチドラムやワイヤロープに、操作コントローラーなどの配線が巻き込まれていないか目視で確認してください。

### 5. 駆動部の点検

- ワイヤロープがゆるんでいないか目視で確認してください。  
ゆるんでいる場合は乱巻きの原因になりますので、きれいに強く巻き直してください。
- 昇降動作時、不安定な動作や各部からいちじるしい異音がないか確認してください。  
不安定な動作や異音が見られる場合は各摺動部・回転部に注油してください。
- ウインチにトラブルが発生した時の原因と対処については、本体添付のウインチ取扱説明書をご参照ください。

## ご使用前の点検（作業場の確認）

---

- やわらかい地面、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所でないことを確認してください。
- 足元や周囲・頭上が見えにくい暗がりとなるような場所、風にあおられるような場所、雨水で濡れる場所でないことを確認してください。
- $-10^{\circ}\text{C}$ 以下の低温、 $40^{\circ}\text{C}$ 以上の高温、90%以上の高湿の場所でないことを確認してください。
- 有機溶剤や爆発性粉じんなどがある場所でないことを確認してください。
- 酸や塩分の多い場所でないことを確認してください。

# リフトの使いかた

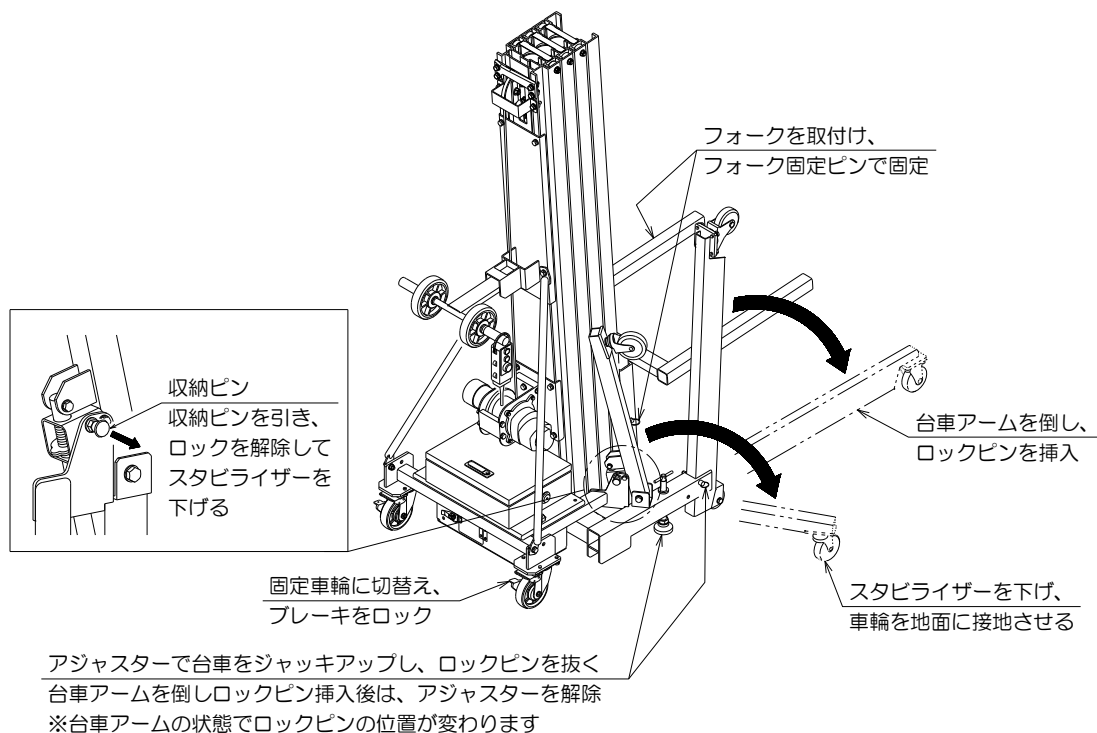
## 1. 製品の設置と準備

手順④はスタビライザー装備機種（HLA-59ADC 型、HLA-74ADC 型）のみ行ってください。

- ① 必ず製品を安定した水平な床面に設置してください。
- ② 台車のブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）を固定車輪に切替え、ブレーキをロックしてください。
- ③ フォークを支柱へ取付け、フォーク固定ピンで固定してください。  
※フォークは上向き・下向きどちらでも取付けできます。
- ④ 収納ピンを引いてロックを解除し、スタビライザーの車輪が完全に地面に接地するまで下げてください。
- ⑤ アジャスターを地面に接地し、台車を少しジャッキアップ（アジャスターのハンドル右回し）してから、ロックピンを抜いてください。
- ⑥ 台車アームを倒してロックピンを挿入し、台車アームを固定してください。
- ⑦ ロックピンが確実に挿入されていることを確認後、アジャスターを解除（アジャスターのハンドル左回し）してください。

### ⚠警告

可動部に手などははさまれないように注意してください。





## リフトの使いかた

---

### 2. 荷物の設置手順

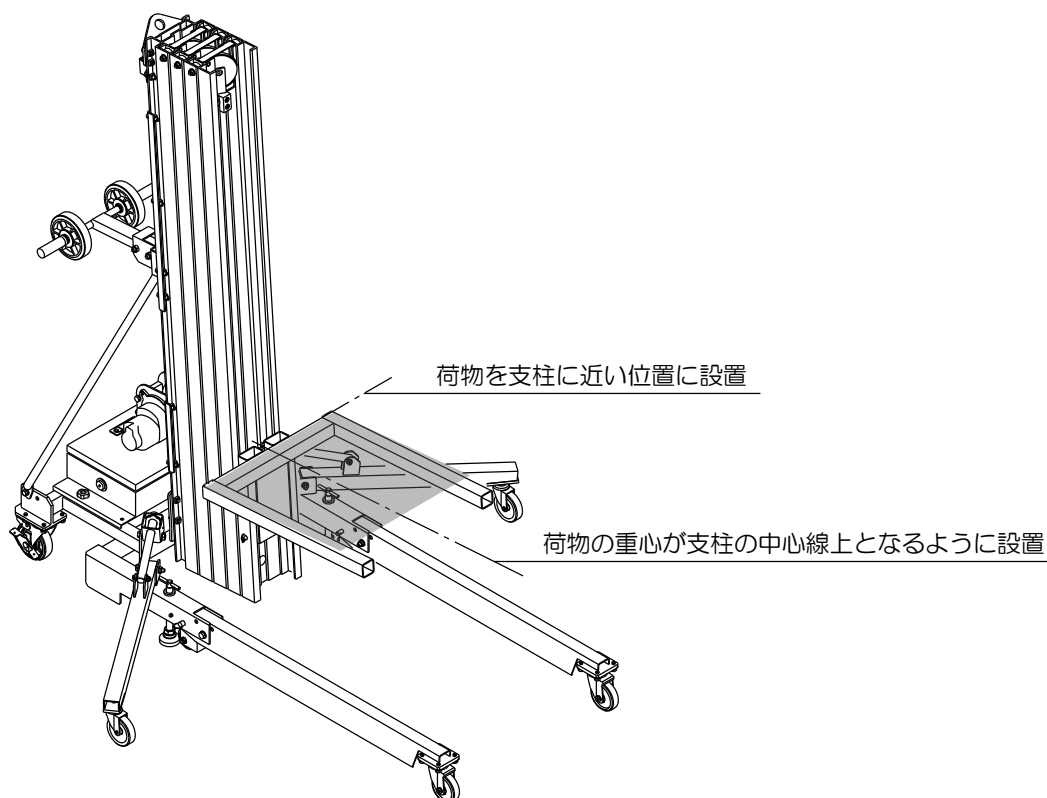
- ① 荷物の重量が最大使用質量以下であることを確認してください。
- ② フォーク上に荷物を載せたとき、不安定でない状態を確認してください。
- ③ 荷物の設置は、フォークの内側かつできるだけ支柱に近い位置としてください。  
※支柱には当たらない様に注意してください。
- ④ 荷物の重心が、できるだけ支柱の中心線上に設置されているかを確認してください。
- ⑤ 荷物をフォークに固定してください。

#### ⚠危険

- ・荷物を適切な状態で設置しなかった場合、製品が転倒したり、荷物が落下したりして、重大な事故につながる恐れがあります。

#### ⚠警告

- ・フォーク上で荷物がずれないように、昇降前に荷物が固定されていることを確認してください。
- ・荷物を設置する際は、支柱横のリミットスイッチに触れないようにしてください。



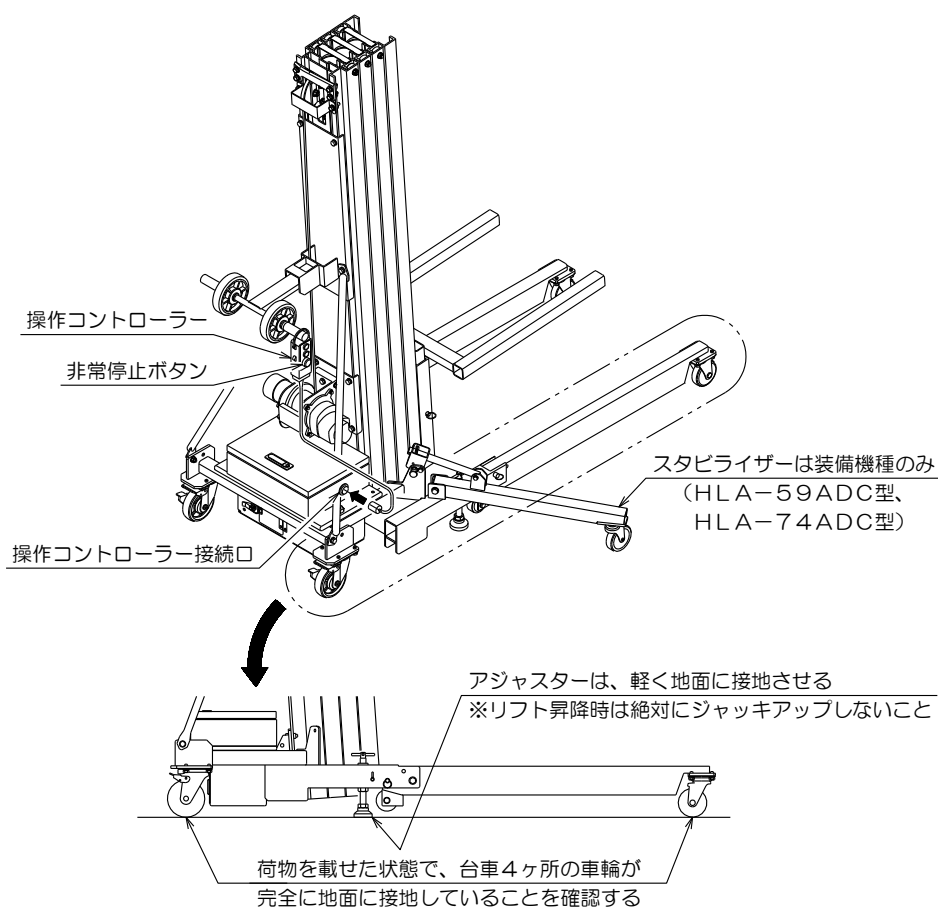
### 3. リフトの昇降前に

- ①フォークに荷物を載せた後、台車のアジャスターを軽く地面に接地させてください。
- ②制御箱の操作コントローラー接続口の蓋をはずし、操作コントローラーを差し込んでしっかりとロックしてください。
- ③操作コントローラーの非常停止ボタン（赤色）が押されている場合は、解除してください。
- ④操作電源用キーを制御箱の操作電源用キースイッチに差込み、右に回して電源ONにしてください。

電源 ON にするとバッテリー残量計が点灯し、リフトの昇降操作ができるようになります。

#### ⚠警告

- ・台車 4 ヶ所の車輪すべてが完全に地面に接地していることを確認してください。
- ・台車 4 ヶ所すべての車輪が接地しなくなるため、アジャスターで台車を極端にジャッキアップしないでください。



リフト昇降前の設置状態

## リフトの使いかた

### 4. リフトの昇降

#### リフトの上昇

操作コントローラーの「上」を押すとリフトは上昇します。

ボタンから手を離すと、リフトは停止します。

※ウインチにはブレーキ機構がついていますので、任意高さで保持します。

※最大高さに達すると、上昇は止まります。(モーター停止)

※荷物の重量が最大使用質量に近い場合、及び荷物の載せ方によっては支柱が順序通りに上がらないことがあります。

このような場合、荷物の重量を軽くすれば現象は起こらなくなります。

支柱が順序通りに上がらない状態でも問題無く使用を継続することもできますが、荷物を取り除いたとき、フォークの位置は保持されたまま急に支柱のみが下に移動することがありますのでご注意ください。

#### リフトの下降

操作コントローラーの「下」を押すとリフトは下降します。

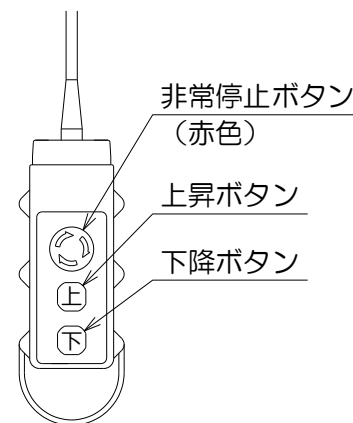
※最低高さに達すると、下降は止まります。(モーター停止)

#### 非常時の停止

操作コントローラーの「赤色ボタン」を押すと、リフトは非常停止します。

このボタンを押した場合、ボタンは押されたままとなって他のボタン操作は出来ない状態となります。

「上」「下」ボタンでリフトの昇降操作が出来る状態に戻す場合は、赤色ボタンをひねって解除してください。



＜操作コントローラー＞

#### ⚠警告

- リフトを上昇させたまま、製品を移動させないでください。
- 最大使用質量以内の荷物をフォークの中心に載せて使用してください。  
フォークの中心に荷物が載っていない場合は、支柱が傾くなどスムーズに上昇しないため、荷物を正しい位置に載せて使用してください。
- 上昇操作時は、頭上や周囲に障害物等がないことを確認してください。
- 下降操作時は、フォークの下に人や障害物等がないことを確認してください。  
また、下降している製品には近づかないでください。
- 破損や製品の転倒、荷物の落下を引き起こす原因になるため、操作コントローラーを引っ張ることはしないでください。

## 5. 非常時の手動運転

操作コントローラーで操作が出来ない場合、付属のハンドルを電動ウインチ側面の非常時手動運転用ハンドル挿入部に使用し、手動で昇降させることができます。

※非常時以外は絶対に使用しないでください。

① 手動運転前に必ず制御箱内のブレーカーをOFF にしてください。

(ブレーカーの操作はP19 参照)

② 電動ウインチのモーター側面にゴムキャップが付いています。

ゴムキャップを外し、付属のハンドルを確実に差し込んで使用してください。

③ ハンドルを反時計回りに回転すると、リフトはゆっくりと「上昇」します。

時計回りに回転すると、リフトはゆっくりと「下降」します。

④ 使用後はゴムキャップを取り付け、ブレーカーをON にしてください。

※手動運転でのリフトの昇降動作は、非常にゆっくりです。

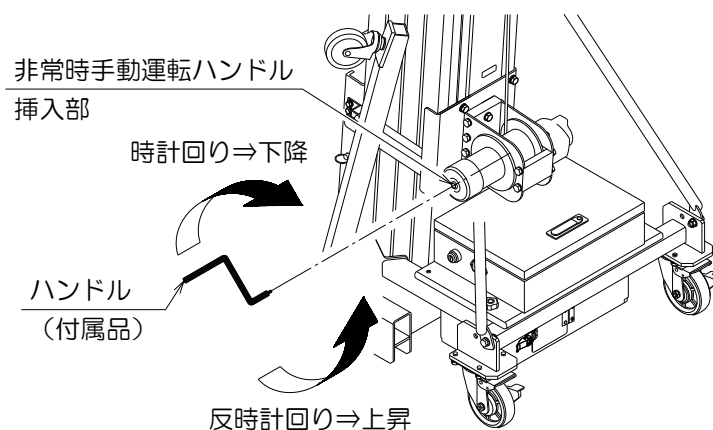
※付属のハンドルが無い場合、お持ちの工具でも操作は可能です。

工具の先端形状は幅 8mm 以下で、挿入部の形状 (3mm×8mm×深さ 6mm) に合ったもので操作してください。

(極端に小さい先端形状は挿入部破損の恐れがあるため、使用しないでください)

※電動ドリルをご使用の場合は、回転数が 3900rpm (1 分間に 3900 回転) 以下のものをご使用ください。

※インパクトドライバは製品に衝撃を与え破損させる恐れがあるため、使用しないでください。



### ⚠危険

手動運転を行う前には必ず、制御箱内のブレーカーをOFF にしてください。

ブレーカーON のまま使用した場合、感電の恐れがあります。

### ⚠警告

製品破損の恐れがあるため、回転数が上限を超える工具は使用しないでください。

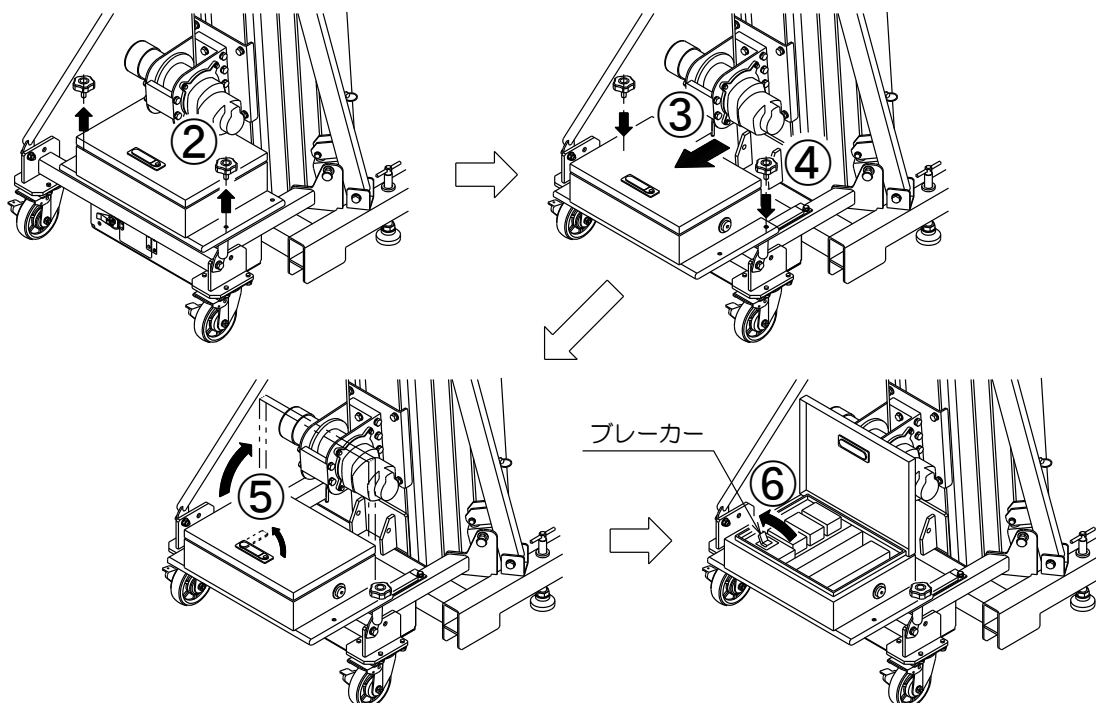
### 6. ブレーカーの操作

制御箱内にはブレーカーが設置されています。

製品に過剰な負荷が掛かった場合や過剰な電流が流れた場合、ブレーカーが作動して電源が入らない状態となります。

ブレーカーを復旧させるには下記の手順で操作を行ってください。

- ① 電源を OFF にしてください。
- ② 制御箱横のノブ付ボルト（2ヶ所）を取り外してください。
- ③ 制御箱を手前に引き出してください。
- ④ 元のノブ取付け位置に制御箱横の穴を合わせて、ノブ付ボルトを取付けてください。
- ⑤ 付属品の制御箱開閉キーで制御箱のカギを開け、レバー上のボタンを押すとレバーが起き上がります。  
レバーを回転させて扉を開けてください。
- ⑥ ブレーカーを ON にすると、電源が入る状態になります。  
電源を ON にし、残量計が点灯していることを確認してください。
- ⑦ 逆手順で制御箱を元に戻してください。



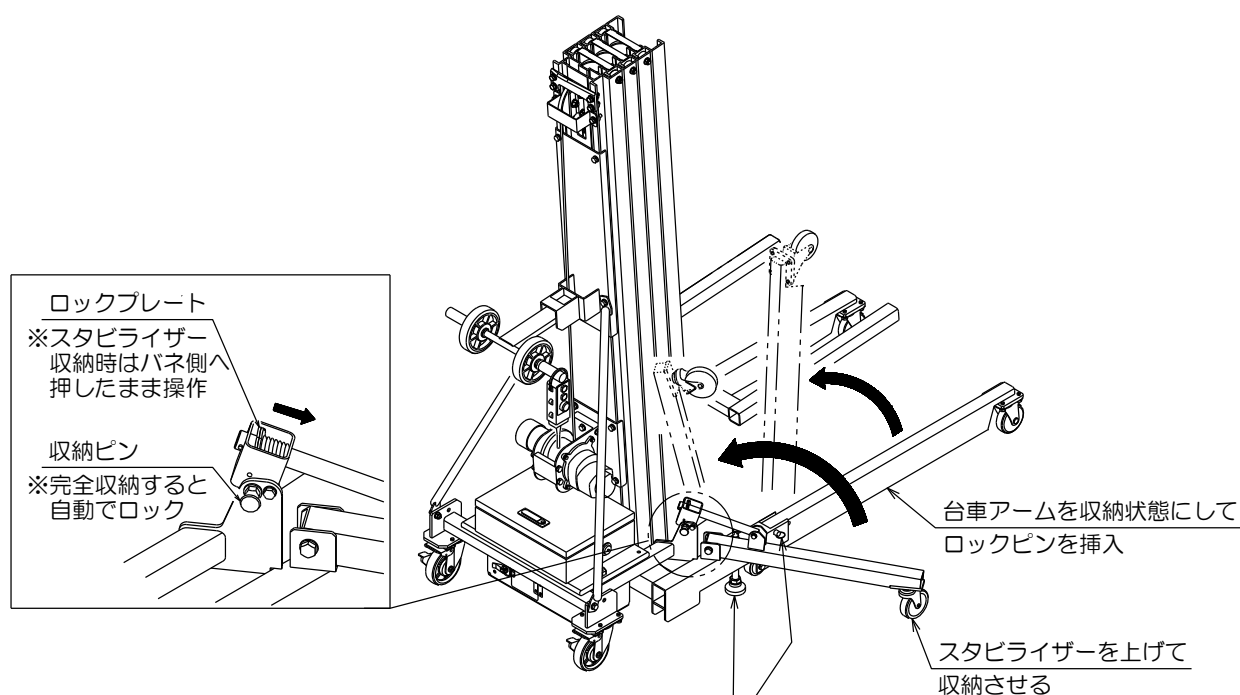
#### ⚠警告

- 制御箱内の配線は触らないよう注意してください。
- 制御箱を手前に引き過ぎると制御箱が落下するので、注意してください。

## 7. 作業終了

手順②はスタビライザー適用機種（HLA-59ADC 型、HLA-74ADC 型）のみ行ってください。

- ① フォークを最下部まで下降し、荷物を降ろしてください。
- ② ロックプレートをバネ側へ押したまま、スタビライザーを上げて収納してください。  
収納ピンが自動でロックされるまでスタビライザーを完全に収納してください。
- ③ 台車を少しジャッキアップして、台車アームのロックピンを抜いてください。
- ④ 台車アームを収納状態にして、ロックピンを挿入して下さい。
- ⑤ 台車のアジャスターを上げて移動できるようにしてください。
- ⑥ 制御箱の操作電源用キースイッチを左に回し、電源OFF にしてください。
- ⑦ 制御箱の操作コントローラー接続部から操作コントローラーをはずし、蓋をしてください。
- ⑧ 操作電源用キーを抜いて保管してください。



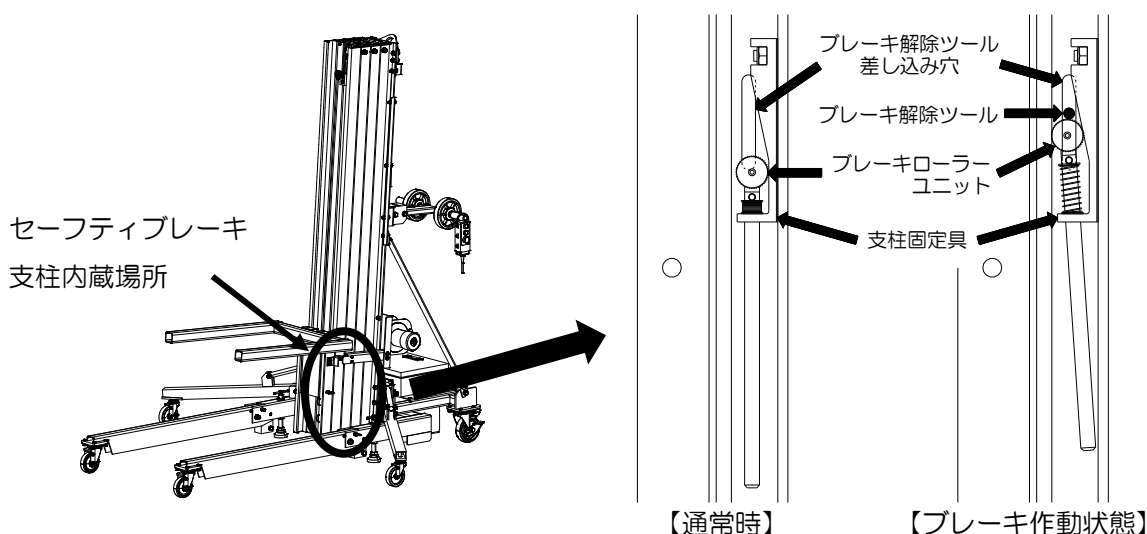
アジャスターで台車をジャッキアップし、ロックピンを抜く  
台車アームを収納状態にしてロックピン挿入後は、アジャスターを解除  
※台車アームの状態ではロックピンの位置が変わります

### 8. セーフティブレーキに関して

HLA-B30ADC 型/HLA-B45ADC 型/HLA-B59ADC 型/HLA-B74ADC 型は、万が一ワイヤー切断が発生した際、フォーク落下を阻止するセーフティブレーキが支柱に内蔵されています。

通常使用では作動しませんが、製品を倒して支柱を水平にした場合や支柱が急に落下した場合などで作動する場合があります。

ブレーキを解除して復旧させるには、下記の手順で作業を行ってください。



#### ブレーキ解除方法

<内部詳細>

- ① フォークの荷物を取り除き、リフトを一番上まで上昇させる。
- ② ①でブレーキが解除されない場合、製品を倒し支柱を水平にした状態で下記解除操作を行ってください。
  - ・支柱にはブレーキ解除ツール差し込み穴が開いています。ブレーキ解除ツール(φ8mm 程度の棒)を差し込み、ブレーキローラーユニットを台車側にスライドしてブレーキ解除を行ってください。
  - ・ブレーキが掛かっている支柱を上昇させる方向に押し上げ、ロック解除を行う。

※水平にするとブレーキが掛かりやすくなります。

ブレーキローラーユニットが掛からないよう、注意して作業を行ってください。

#### ⚠危険

製品を立てたままでのブレーキ解除は、解除されたとき支柱が急落下する恐れがあるため危険です。安全に配慮した方法で作業を行ってください。

#### ⚠危険

一度ブレーキが掛かった支柱は、変形や破損が発生している場合があります。変形・破損が発生した製品は絶対に使用せず、弊社へご相談ください。

## 運搬と保管のしかた

---

製品を運搬・保管する場合は必ず収納状態とし、次のことを守った状態で行ってください。

車輛などで製品を運搬する場合は、荷台にしっかり固定し、製品が雨等に濡れないようカバーをかけるなど処置をしてください。

### 1. 移動のしかた

- ① 支柱を最下部まで下降してください。
- ② 台車のアジャスターが上がっていることを確認してください。
- ③ ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）のロックを解除し、移動用ハンドルを持って移動させてください。

#### ⚠注意

移動用ハンドル以外を持って移動させると、可動部で手をはさんだり、製品が破損する恐れがあります。

### 2. クレーンで製品を積込むには

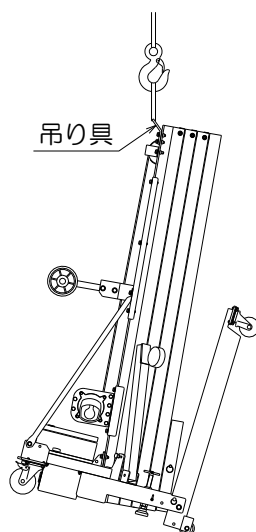
- ① 台車アームを収納状態にして、ロックピンを挿入してください。
- ② 支柱の後部側先端に取り付けてある吊り具を使用して積込んでください。  
※吊り上げの際、製品が傾くため周囲の状況を確認した後、慎重に吊り上げてください。  
また、製品を降ろす際も同様に、慎重に操作してください。

#### ⚠注意

本製品の支柱はアルミ製です。急激に吊り上げたり、降ろしたりすると変形や破損の原因となります。

#### ⚠危険

製品質量（9ページ参照）に対して、十分な強度を有する吊上げ材を使用してください。

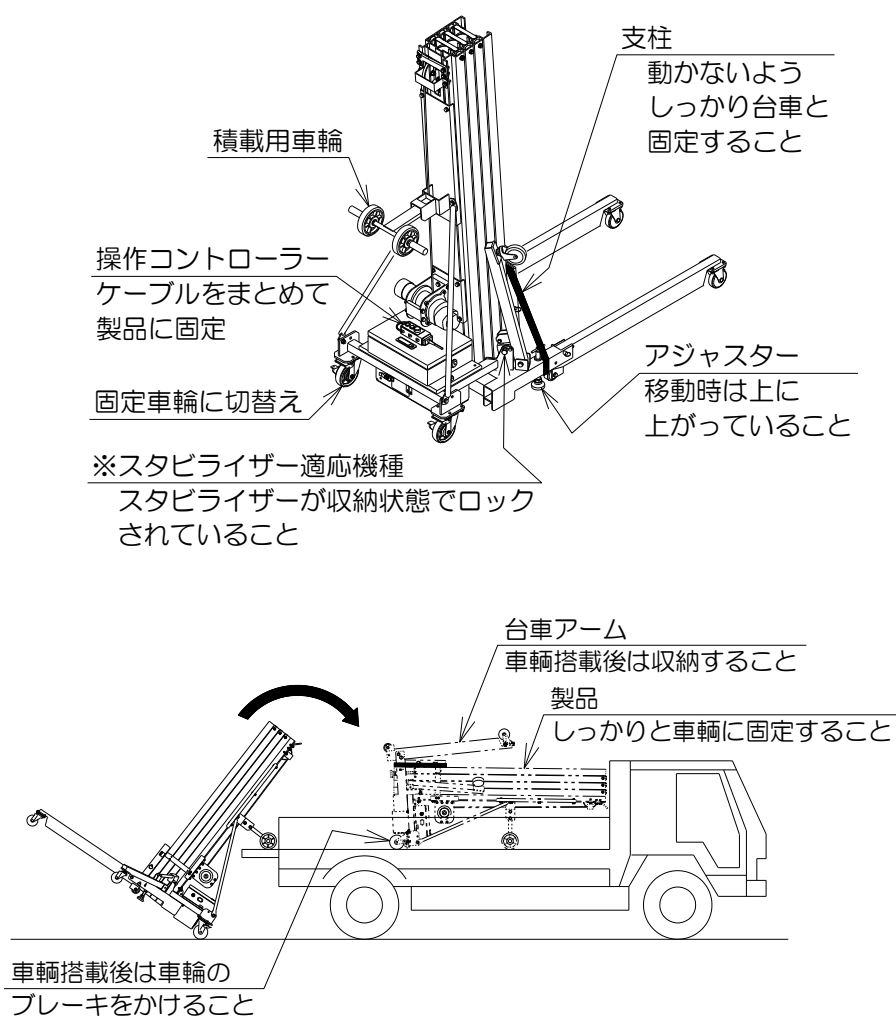




## 運搬と保管のしかた

### 3. 車輻へ積込むには

- ① 支柱が動かないようしっかりと台車と固定してください。  
(フォーク取付けの先端側支柱を台車と固定することで、支柱は伸縮しなくなります)
- ② 操作コントローラーのケーブルをまとめ、製品に固定してください。
- ③ ブレーキ付自在固定切替え車輪を、固定車輪に切替えてください。(2箇所)
- ④ ハンドルに付いている積載用車輪を車輻荷台へ接地させ、製品を持ち上げて積込んでください。
- ⑤ 積み込み後は、ブレーキ付自在固定切替え車輪のブレーキをかけ、台車アームを収納し、確実に車輻に固定してください。



### ⚠警告

- 製品質量が重いため、積み込みは必ず3人以上で行ってください。  
また、製品が不安定にならないよう、注意して積み込みを行ってください。
- 輸送時に支柱が伸縮しないよう、しっかりと固定してください。

---

#### 4. 保管のしかた

- 保管時は製品の汚れ（泥、セメント、石灰、海水等）を拭きとり、雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。
- 保管時は不意の移動を防ぐため、必ずブレーキ付き自在車輪（2箇所）のブレーキをかけ、平らで水平な場所に保管してください。
- 使用後は電源を OFF にして保管してください。
- バッテリーは作業終了ごとに充電してください。  
放電状態での保管はバッテリーの寿命が短くなる原因となります。
- 製品を長期間使用しないときでも、定期的に充電（最低 1 ヶ月に 1 回充電）してください。  
バッテリーを放電しすぎると性能や寿命が低下したり端子がさびたりする原因になります。
- 関係者以外の使用を防ぐため、操作電源用キーは必ず外して保管してください。

#### ⚠注意

- ・バッテリー充電中は製品を収納状態にし、昇降操作はしないでください。充電器破損の原因となります。
- ・バッテリー充電は、風通しの良い場所で行ってください。埃や極端に湿気の多い場所で充電すると機器破損の原因となります。

## 「故障かな？」と思ったら（不調診断）

＜現象＞・製品がスムーズに移動できない。

点検する箇所	処置のしかた
ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）のブレーキがロックされていないか。	車輪のブレーキを解除してください。
ブレーキ付自在固定切替え車輪（2箇所）が固定車輪でロックされていないか。	固定車輪のロックを解除してください。
台車のアジャスターが地面に接地していないか。	アジャスターを上を上げてください。

＜現象＞・台車のアジャスターがスムーズに回らない。

点検する箇所	処置のしかた
アジャスターのネジ部がさび付いていたり、ジャッキアップ時に異音がないか。	アジャスターのネジ部に注油してください。

＜現象＞・バッテリー残量計が点灯しない。

点検する箇所	処置のしかた
操作電源用キーが差し込まれ、右に回されているか。	残量計が点灯しない場合、バッテリー残量が著しく低い可能性がある為、充電してください。充電を行ってもバッテリー残量計が点灯しない場合、バッテリー及び充電器の故障が考えられますので弊社へご相談ください。
ブレーカーがOFFになっていないか。	制御箱内のブレーカーをONにしてください。

＜現象＞・上昇/下降ボタンを押しても、リフトが昇降しない。

点検する箇所	処置のしかた
最大使用質量を超えて使用していないか。	最大使用質量以下で使用してください。
非常停止ボタンが押されていないか。	非常停止ボタンを解除してください。
荷物やワイヤーロープが引っ掛かり、リフト昇降の妨げとなっていないか。	昇降の妨げとなる物を取り除いてください。各部異常がないか点検後、使用してください。
バッテリーが消耗していないか。	電源ONを確認した後、バッテリー残量を確認し、減っている場合はバッテリーを充電してください。
リフトが最大高さ/最低高さに達していないか。	最大高さ/最低高さに達すると、リフトはそれ以上昇降できません。（モーター停止）
セーフティブレーキが効いていないか	セーフティブレーキを解除してください。（P22 参照）
上記に該当しない場合	ケーブルの断線や緩み、その他機器の劣化・故障等が考えられます。弊社へご相談ください。

## 「故障かな？」と思ったら（不調診断）

<現象>・リフトがスムーズに上昇しない。

点検する箇所	処置のしかた
フォークの中心に荷物が設置されているか。	フォークの中心に荷物を設置してください。

<現象>・支柱が順序通りに上昇しない。

点検する箇所	処置のしかた
最大使用質量に近い重量の荷物を載せていないか。	荷物の重量が最大使用質量に近い場合や荷物の載せ方で、支柱が順序通りに上がらないことがあります。 このような場合、荷物の重量を軽くすれば現象は起こらなくなります。 支柱が順序通りに上がらない状態でも問題無く使用を継続することもできますが、荷物を取り除いたとき、フォークの位置は保持されたまま急に支柱のみが下に移動する事がありますのでご注意ください。
荷物が適切な位置に設置されているか。	

<現象>・リフトが最大高さに達した状態で、上昇ボタンを押すとモーターが動く。

点検する箇所	処置のしかた
リフトが最大高さに達すると、自動的にモーターが停止して上昇動作が止まるか。	リフトが最大高さに達した状態で上昇ボタンを押した時、モーターが動き続ける場合は機器の故障が考えられます。 そのまま使用しないで弊社へご相談ください。

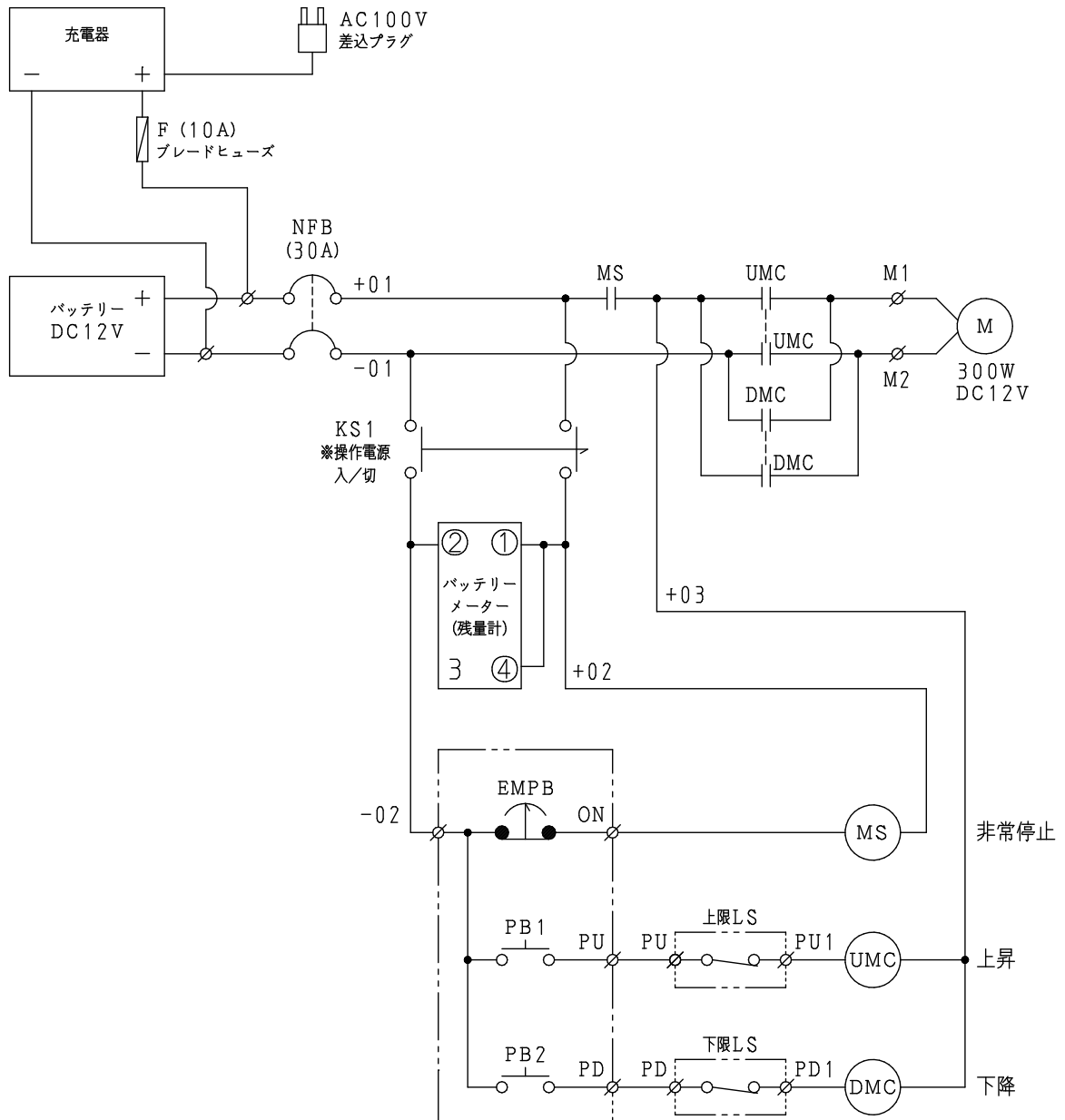
<現象>・リフトが最低高さに達した状態で、下降ボタンを押すとモーターが動く。

点検する箇所	処置のしかた
リフトが最低高さに達すると、自動的にモーターが停止して下降動作が止まるか。	支柱横の下降端を感知するリミットスイッチが変形や破損していると、リフトが自動的に停止しなくなります。 また、リフトが最低高さに達した状態で下降ボタンを押した時、リミットスイッチを感知してもモーターが動き続ける場合は機器の故障が考えられます。 そのまま使用しないで弊社へご相談ください。
支柱横の下降端感知リミットスイッチが変形していないか。また、ワイヤーが張った状態で最下降位置で感知する状態となっているか。	

# 始業前点検表

		型式（機種）	HLA-		
		シリアルナンバー			
点検項目	点検内容	結果	結果	結果	結果
外観 (目視・操作)	各部に、曲がり・ねじれ・へこみ・亀裂がないか				
	車輪のブレーキが確実にロックできるか				
	各部ボルトに緩みはないか				
	各ラベルが読み取れるか				
ワイヤーロープ (目視)	素線切れはないか				
	キンクしていないか				
	その他、著しい変形、型崩れ、腐食がないか				
電気系統 (目視・操作)	各種配線、ケーブル類にいちじるしいたるみ・傷 亀裂・腐食はないか				
	バッテリー残量計が正常に点灯するか (操作電源用キースイッチ ON で点灯)				
ウインチ (目視・操作)	操作コントローラーのボタン操作と荷物の動作が 一致しているか				
	停止時、ブレーキが効いているか				
	電動ウインチ（ギアケース、ウインチドラム、 モータ）に損傷や変形摩耗がないか				
	ウインチドラムやワイヤーロープに操作コントロ ーラーなどの配線が巻き込まれてないか				
	非常停止ボタンが作動するか				
	昇降動作時、各部からいちじるしい異音がないか				
駆動部 (目視)	ワイヤーロープがゆるんでいないか				
	各摺動部・回転部の注油状態は適正か ※各摺動部・回転部は定期的に注油してください				

# 電気回路図



## 保守点検のご案内

---

本製品の保証期間は、納入日から 1 年間です。

※お客様の取扱いの誤りによる故障・破損に関しては保証対象外となります。

製品の性能を保つため、保証期間が過ぎましたら保守点検（有償）を推奨しております。  
詳しくは弊社までご相談ください。

MEMO

ピカ コーポレイション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

---

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

---

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P24. 06  
760600301557